

ビーンボウリング

ビーンボウリングは、ボウリングのピン配列を工夫し、横に並べ簡便化したものです。名の通り、ピンにボールが当たると豆がはじけるように、反転したり、勢いにつきすぎると自動的に元にもどるようになっています。
コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、老若男女誰でも楽しめる軽スポーツです。



時期	通年	所要時間	1～2時間	人数	60名以内	
対象	幼児以上	活動場所	プレイホール、中央ホール、第一研修室			
準備物	自然の家で貸し出す物		団体・個人で準備する物			
	ビーンボウリング用具一式 得点表		□汗ふきタオル □水筒(必要に応じて)			
活動の手順	事前指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームを編成する。(1対1 2対2 5対5等) 2 用具を準備する。(プレイホール内用具室) 3 ルールを知る。 <p>(1)ゲームの進め方</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 先攻後攻を決める。 ② プレイヤーは1フレームにつき2球ずつ投球する。 ③ 投球ラインからピンまでの距離は5m、7m、9mとする。それぞれの距離から3フレームずつ合計9フレームを投球して1ゲームとする。 ④ ボールを転がして9本のピンに当て、反転したピンの点数が得点になる。ただし、反転後リバウンドし、元に戻ったピンは得点として数えない。 <p><勝敗></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 全フレームが終わったときの合計得点が多い方が勝ち。 ◇ 9本のピンのうち、中央の無表示のピンをストライクピンと呼ぶ。1投目でストライクピンが反転した場合は20点(ストライク)となる。2投目で反転すれば10点(スペア)となる。 ◇ ストライクやスペアをとっても次のフレームには加算されない。 <p><反則></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 投球動作中にラインを踏んだり、越えてしまう。 ◇ 投球後にラインを越えてしまう。(手がラインから出るのは良い) ◇ 投球中、手から離れたボールが、投球エリア外に落ちた。 <p>※ このルールは例です。アイディアは無限です。団体に遊び方を工夫してみてください。</p>				
		活動の実際	○ ゲーム開始			
			<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに参加していないチームが審判及び得点係をする。 ・トーナメント戦またはリーグ戦で行う。 			
事後	<ol style="list-style-type: none"> 1 参加者のけがの有無を確認する。 2 用具の後片付けをする。 					
	備考	他のニュースポーツと同時に活動し、交替しながら楽しめます。				

